



平成 27 年 7 月 2 日
国土交通省中部地方整備局
四日市港湾事務所

(お 知 ら せ)

松林再生への取り組み

～小学校で海岸に植樹する苗の生育状況を確認しました～

三重大学の東側、津市栗真町屋海岸において、老朽化した海岸堤防の改良工事を施工しています。この工事で海岸に植生していた松の一部が消失するため、平成 24 年度から地元自治会・小学校とともに、松林の再生に向けた取り組みを行っています。

6 月 26 日(金)に松の生育状況について、津市立 北立誠小学校・栗真小学校 の先生・生徒のみなさんから報告を受けました。種まきから2年が経過し、ずっと世話をしてきた子供達から、日頃の水やりのことや除草の時に葉っぱが当たって痛いことなど、苦労話も聞くことができました。

大きい苗は30cmを超えるものもあり、子供たちが一生懸命大切に世話をしてくれている事がよくわかります。この苗は、本年度末に栗真町屋海岸へ植樹される予定です。

【本日の様子】

北立誠小学校

栗真小学校



※当日の天気が雨だったことから、北立誠小学校では子供達からの報告を室内で受けました。

【植樹場所】



背景図：海上保安庁、国土地理院承認番号平 24 情使、第 916 号(C)Esri japan

**【解禁・制限】**

なし

【配布先】

中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、三重県政記者クラブ、津市政記者クラブ、港湾新聞社、港湾空港タイムス、日本海事新聞社、海事プレス

【問い合わせ先】

国土交通省中部地方整備局 四日市港湾事務所
副所長 宮戸(みやと) TEL 059-351-1357

【事業内容】

津松阪港海岸は、昭和 28 年に来襲した台風 13 号、さらには未曾有の災害をもたらした昭和 34 年の伊勢湾台風により壊滅的な被害を被り、昭和 28 年から昭和 38 年にかけて災害復旧事業として海岸堤防が整備されました。

その後、約半世紀が経過し海岸堤防の老朽化が著しいことから、液状化対策等を含めた抜本的な高潮対策が必要となり、平成 4 年度から堤防の改良を開始、老朽化が著しい松阪地区・三雲地区・香良洲地区・津地区(贄崎工区)の約 11km について堤防改良が完了しています。

現在は、津地区の栗真町屋工区(延長約 2km:平成 23 年度着工)と、阿漕浦・御殿場工区(延長約 3.5km:平成 26 年度着工)の整備を進めています。

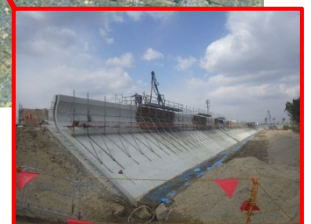
【栗真町屋海岸 松林再生の取り組み】

栗真町屋海岸の前浜には、地域の方々が長年にわたり清掃・維持管理に取り組まれてきた白い砂浜と松林があります。

堤防改良工事により、この松林の一部(約 500 本)が消失することから、検討を進めた結果、地域の方々や地元小学校の協力を得て、現地の松の種子から苗木を育てて植樹し、松林を再生することになりました。平成 24 年度から取り組みを開始し、本年度末に海岸へ植樹を行う予定となっています。



【栗真町屋工区】

**○今後の予定**

平成 28 年 2 月～3 月 : 松の植樹(栗真小学校、北立誠小学校の児童が参加予定)